

発行 (社)日本経営士会 千葉支部 <http://keieishi-chiba.org/>
支部長 鶴岡義明 〒275-0001 習志野市東習志野 3 丁目 11-15
編集 事務局 副支部長 鈴木伸一

平成21年6月8日発行

第82号

去る5月9日に社団法人日本経営士会千葉支部の新生第1回(通算第54回)定時総会が執り行われました。今回は支部として迎えた初めての総会です。また同時に行われた講演会では、成田空港株式会社 伊藤 斉(ひとし)様より、「成田空港の現状と今後」と題して、成田空港の歴史とその裏側、現在の状況、将来などについて貴重なお話をご披露していただきました。

ごあいさつ

(社)日本経営士会 千葉支部

支部長 鶴岡 義明

(社)日本経営士会千葉支部も組織変更をして、ようやく一年が過ぎました。この一年を振り返ってみると、今迄以上に(社)千葉県経営者協会との結びつきを強め、福井電化工業(株)および(株)アキテックの2社を紹介して頂き、11月と2月にそれぞれ企業訪問を実現いたしました。また、3月には金子昭会員が講師となり「100年に一度の金融危機を乗り越える財務戦略」と題し共催セミナーを実施しました。また、昨年の総会で古在教授より特別講演を頂いた縁により、千葉大学柏の葉キャンパス「環境健康フィールド科学センター」を訪問し千葉大学の産学連携の説明を受けるなど、支部としての新しい取り組みを重視してまいりました。

従来の北関東支部の行事(MPP、フォーラム、公開講座等)は、人員も3分割したので昨年に引き続き、北関東支部、埼玉支部と共同で実施することいたしました。また、今年は北関東圏3支部(北関東支部・埼玉支部・千葉支部)が主管で経営士全国研究会議が茨城県つくば市で7月25日・26日の2日間に亘って行われます。

一方本部では、公益法人認定申請に伴い昨年6月に「再生プロジェクトチーム」を立ち上げ、わが千葉支部からも数名の方々が参画しております。その中で高齢化による退会増で会員減少傾向が急速に進行しているため、総力をあげて会員増強に努めております。千葉支部においても、100人を割ってしまいました。

今年度は、現在活動しているコンサルタント研究会に加えて、農業・観光研究会と就業支援研究会の3つの研究会を千葉支部の研究会として承認し、補助金を出してそれぞれの目的を達成して頂こうと思っております。これらの研究会が軌道に乗ると長年考えていたいろいろな意味での会員へのフィードバックに繋がると思われます。

これらのことを成し遂げるには、会員の皆様のご協力がなければ出来ないことばかりですので、今後もより一層のご支援ご協力をお願いいたします。

第54回（千葉支部第一回）定時総会開催

平成21年5月9日（土）午後1時より、千葉支部となって初めての経営士会千葉支部の総会が、開催されました。

大河内副支部長の開会のことばの後、鶴岡支部長のあいさつがあり、千葉支部としての今後の活動方針についてお話されました。その後、本部の上田専務理事から再生プロジェクトの活動成果と理事会での協議事項についてお話があり、議長選出後、議事に入りました。

まず、鈴木副支部長より平成20年度の事業報告が行われ、従来と変わった支部としての活動が成果を挙げつつあると報告されました。同じく収支報告は山田会計担当幹事より平成20年度の収支報告が行われ、岩野監事より監査報告が行われ、平成20年度に関する審議事項は決議されました。

引き続き、平成21年度の事業計画が審議され、まず鶴岡支部長より支部運営方針として、特に全国研の成功と会員増強と公開講演会の実現に向けて行動することを宣言され、鈴木副支部長より、各委員会事業計画の説明があり、西村副支部長からは会議研修計画の説明があった。最後に山田会計担当幹事より平成21年度の収支予算の説明があり、質疑応答の後、平成21年度の事業計画について、決議されました。

総会終了後、伊藤 斉（ひとし）成田空港株式会社常務より、「成田空港の現状と今後」と題して、記念講演が行われ、興味深いお話をたくさんお話いただきました。その後会場を移して懇親会が開かれ、来賓、講師も参加して楽しいひと時を過ごすことができました。

会 場：千葉市 京葉文化プラザ

議 長：鶴岡義明 会員

書 記：中嶋清介 会員

議事録署名人：榎田国男 会員

河井成夫 会員

支部長あいさつ 鶴岡義明 支部長

来賓あいさつ 上田隆一 本部専務理事

審議事項

- (1). 平成20年度事業報告承認の件
- (2). 平成20年度決算報告承認の件
- (3). 平成20年度監査報告の件
- (4). 平成21年度事業計画(案)承認の件
- (5). 平成21年度予算(案)承認の件

総会の様子



総会の様子



あいさつする鶴岡支部長



会の現状について説明する上田本部専務理事



懇親会の様子



懇親会の様子



第 5 4 回 定時総会記念講演

成田空港株式会社 常務取締役
伊藤 斉 氏

演題「成田空港の現状と今後」

成田空港株式会社の伊藤常務より、「成田空港の現状と今後」と題し、開港時の裏話や苦労話など、現場だからこそのお話を伺うことができました。また今後の空港運営についての貴重な意見も披露いただき充実した内容の講演会でした。

・ 3月23日発生のフェデラルエクスプレス80便の事故について、成田空港開港以来始めて2名の操縦士が亡くなった。早く運行を再開をできたことが救いであった。

1．成田空港の歴史

・新空港計画 羽田空港が手狭になったために、新空港が計画された。当初は富里・八街案であったが、1966年、政治決着で御料牧場があった成田三里塚に決定した。

・空港反対運動 成田空港は開港までに、大きな反対運動が行われ、現在もその影響が残っている。1971年の代執行、1978年の過激派による管制塔占拠事件など大きな事件が起こった。

・新東京国際空港の開港 1978年新東京国際空港が開港した。A滑走路のみの暫定開業であった。

・話し合いの時代 1991年から1993年、問題の打開を図るため成田空港問題シンポジウムが開催された。シンポジウムでは、土地収用決裁申請の取り下げ、国が過去の行為を反省し、B・C滑走路計画を白紙に戻す。今後の成田空港問題の解決のため協議の場を設ける、の3つが決議された。それを受けて1993年から1994年にかけて成田空港問題円卓会議を開催した。「共生委員会」を設置、B平行滑走路は話し合いによって取得し、C横風用滑走路はその後、改めて提案する、「地球的課題の実験村」構想の具体化の検討が決定した。

・共生の時代 地域との共生に向けて、三里塚さくらの丘の整備、日本一短い芝山鉄道の開業、様々なイベント、情報公開などが進められている。また、共生のもたらした結果として2,180メートル暫定平行滑走路の供用が開始され、2009年9月には平行滑走路が2,500メートル化され、発着回数が20万回から22万回へ拡大されることとなった。

2．成田空港の現状

・成田空港は国際空港として4,000メートル滑走路、2,180メートル滑走路（2,500メートルへ延伸工事中）の2本を持つ。

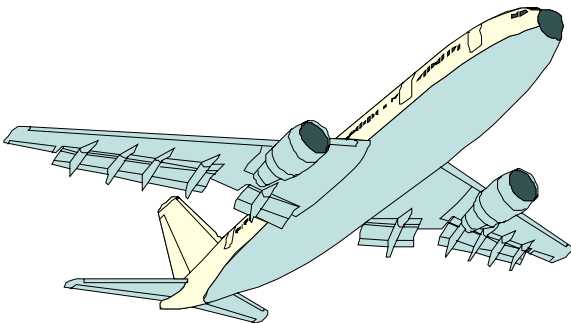
・開港から30年経過したが開港時に比べ発着回数が3.2倍、旅客数が4.3倍（年間3,400万人）、貨物量が

5.8倍となっている。国内空港の国内線のシェアは半分以上を占めている。

- ・貨物量はチェックラップコック（香港）、仁川（韓国）に次いで世界3位である。取り扱う貨物は精密機器や緊急輸送品が多い。
- ・成田空港は空港環境対策に総額3,360億円もかけている。

3．成田空港の今後

- ・B滑走路の2,500メートルへの延伸が9月に完工する。予定以前に完了するのは始めてである。
- ・成田新高速鉄道の工事も順調である。30分台で日暮里から到着する。圏央道、北千葉道路の整備が進めば県北部等からのアクセスが改善される。
- ・羽田空港の拡張が進んでいるが、海上空港であるので滑走路一本が1億円かかる。成田では3千億でできる。
- ・成田空港の発着枠の増加と羽田空港の国際発着枠を併せて国際線について検討する必要がある。羽田はアジア近距離線を、成田は欧米線を分担することや、夜間成田が利用できないときは、羽田を利用するなどが検討されている。
- ・平成32年に葉首都圏の空港容量は限界になると考えられている。近隣市町に「成田国際空港都市づくり推進会議」として年30万回発着回数の実現の方向性を説明する。
- ・羽田との関係や周辺自治体との関係など難しいところが多いが、日本の空の玄関としての成田空港の将来を考えていきたい。



研修・研究会日程

| | 本部支部行事・支部行事 | 月例研修会 | コンサルティング研究会 | MPP |
|-----|---|---|---|----------------------------------|
| | 事務局 | 西村 豊 | 若月 英司 | 中嶋 清介 |
| 4月 | 25(土) 幹事会 船橋中央公民館 12:30 ~ 15:00 | 25日(土) 船橋中央公民館 15:00 ~ 18:00 「千葉支部 新入会員報告」 | 30日(木) 近江技術士事務 所 15:00 ~ 18:00 | |
| 5月 | 9日(土) 千葉支部総会 千葉京葉銀行文化プラザ 13:00 ~ 30日(土) 幹事会船橋中 央公民館 15:00 ~ 18:00 | | 24日(日) 近江技術士事務 所 15:00 ~ 18:00 以後毎月開催、開催日時場 所は今後決定 | |
| 6月 | 12日(金) 本部総会 27日(土) 幹事会 船橋中央公民館 12:30 ~ 15:00 | 27日(土) 船橋中央公民館 15:00 ~ 18:00 「儲かる農 業」 | 17日(水) 市川商工会議所 13:30 ~ 17:30 「中小企業経 営改善セミナー」 | |
| 7月 | 11日(土) 幹事会 船橋中央公民館 15:00 ~ 18:00 25日(土) ~ 26日(日) 全国 研究会議 つくば | 全国研実施のため行いま せん。全国研への積極的参加 をお願いします。 | | 28日(火) 千葉県経営者協 会MPP |
| 8月 | 22日(土) 幹事会 29日(土) 30日(日) 関 東5支部合同MPP | 22日(土) 月例研修会 15:00 ~ 18:00 「テー マ未 定」 神奈川県会 島川憲夫 会員 | | 25日(火) 千葉県経営者協 会MPP |
| 9月 | 26日(土) 幹事会 | 26日(土) 月例研修会 詳細未定 | | 29日(火) 千葉県経営者協 会MPP |
| 10月 | 24日(土) 幹事会 | 24日(土) 月例研修会 詳細未定 | | 27日(火) 千葉県経営者協 会MPP |
| 11月 | 28日(土) 幹事会 | 28日(土) 月例研修会 詳細未定 | | 14日(土) 15日(日) 千葉支 部MPP 時間場所未定 |
| 12月 | 19日(土) 幹事会 年末懇親会 | 19日(土) 月例研修会 詳細未定 | | |
| 1月 | 30日(土) 幹事会 | 30日(土) 月例研修会 詳細未定 | | |
| 2月 | 6日(土)、7日(日) 北関3 支部合同MPP 27日(土) 幹事会 | 27日(土) 月例研修会 詳細未定 | | |
| 3月 | 27日(土) 幹事会 | 27日(土) 月例研修会 詳細未定 | | |

会議・研究会開催報告

第1回運支部常任幹事会

平成21年4月11日(土) 15:00~18:00

場 所 船橋市喫茶ふれいす

参加者 鶴岡義明、西村 豊、大河内国治、鈴木伸一、山田 一

(ア) 平成20年度総会資料内容確認

(イ) 平成20年度収支報告確認

(ウ) 平成21年度予算作成

(エ) 定時総会段取りの確認

第1回支部幹事会

平成21年4月25日(土) 12:30~15:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 鶴岡義明、大河内国治、西村 豊、鈴木伸一、山田 一、林 久雄、大塚亜喜雄、小塚彦明、阿部俊一、中嶋清介、藤江隆平、岩野邦久、若月英司

1. 報告事項
2. 平成21年度事業計画について
3. 定時総会段取りについて
4. その他

第2回支部幹事会

平成21年5月30日(土) 12:30~15:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 鶴岡義明、大河内国治、西村 豊、鈴木伸一、林 久雄、岩野邦久、小塚彦明、阿部俊一、中嶋清介、藤江隆平、大塚亜喜雄

1. 報告事項
2. 定時総会結果報告について
3. 全国研準備について

3 月度月例研修会

平成 21 年 3 月 27 日(土) 15:00 ~ 17:00

場 所 千葉県経営者会館

参加者 阿部俊一、北 賢治、千葉道生、鶴岡義明、轟一三、中嶋清介、西村 豊、林 堯夫、林 久雄、
藤江隆平、山田 一、千葉県経営者協会参加 13 名

テーマ 千葉県経営者協会共催セミナー 「100 年に一度の金融危機を乗り切る財務戦略」

講 師 金子 昭 会員

千葉県に軸足を置いた社会貢献活動をテーマに活動してきた平成 20 年度、幾つかの新しいスタイルの研修会にトライしてきたつもりであるが、年度内にどうしてもクリアしておきたかった千葉県経営者協会さまとのコラボレーション活動のきっかけとして、共催セミナーをようやく実現することが出来た。

講師は、千葉支部の大先輩である金子先生（元千葉県会長、北関東支部長）に、ご専門の財務分野で最も聞きたいと思われる内容で「100 年に一度の金融危機を乗り切る財務戦略」というテーマでのご講演をお願いした。3 月本決算の企業としては最も忙しいと思われる期末の最終金曜日という日程ではあったが、千葉県経営者協会会員企業さま 10 社 11 名、日本経営士会千葉支部会員(一部東京支部会員含)11 名、事務局 2 名の計 24 名の参加で開催することが出来た。

講演内容は、最新のシンジケートデータ、新聞記事、企業の決算書、レーダーチャート等を用い、日本経済の動き、基本的な財務分析手法、国際会計基準に対応した新しい手法の紹介等、経営者向けにアレンジして頂いたものであった。特に今回無理を承知でお願いした「不況下における有効投資」というテーマについては、相当先生を悩ませてしまったようであるが、企業にとっては経営の基本である コスト削減 在庫圧縮 設備投資の抑制 不採算部門からの撤退 M&A をベースに経営改善を徹底して行うことが重要であり、株式投資の局面では、グリーンニューディールを掲げる環境関連銘柄が買いであるということである。

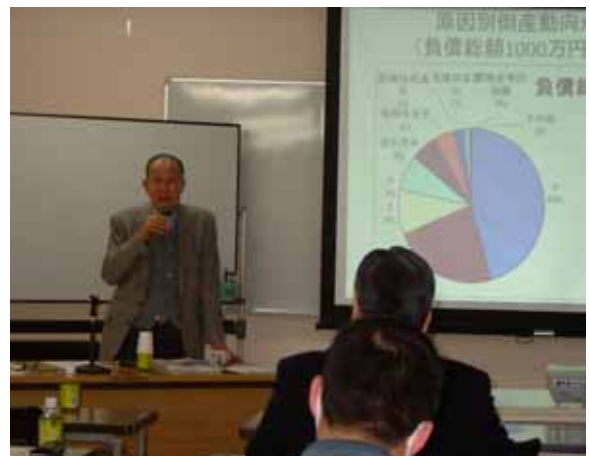
結論としては、この不況下においては守りを固めるだけでなく、反転攻勢に向けた準備や基礎づくりを行うこと、設備投資や研究開発費の総額は抑制しつつも、競争力の源泉となる分野では投資や研究開発を継続している企業は多いということが大変重要であるということだ。

財務体力のある企業ではこの局面で、海外企業の買収、人材の育成、技能継承やスキルアップ研修を実施している企業は数知れない。

かってないほどの不況はピンチであると同時に、古い時代のアカを落として足腰を鍛え、飛躍の芽を育てるチャンスでもある。この機会を生かせるかどうかで将来大きな差がつくことを肝に銘じたい。

終了後の懇親会では、会員企業の皆様と名刺交換、情報交換をさせていただきました。そして、これを機に、この共催セミナーは今後も継続して行うことを事務局長とお約束させていただきました。

今回ご協力いただきました金子先生をはじめ、千葉県経営者協会事務局さま、及び我千葉支部の関係者の皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



4 月度月例研修会

平成 21 年 4 月 25 日(土) 15:00 ~ 18:00

場 所 船橋市中央公民館

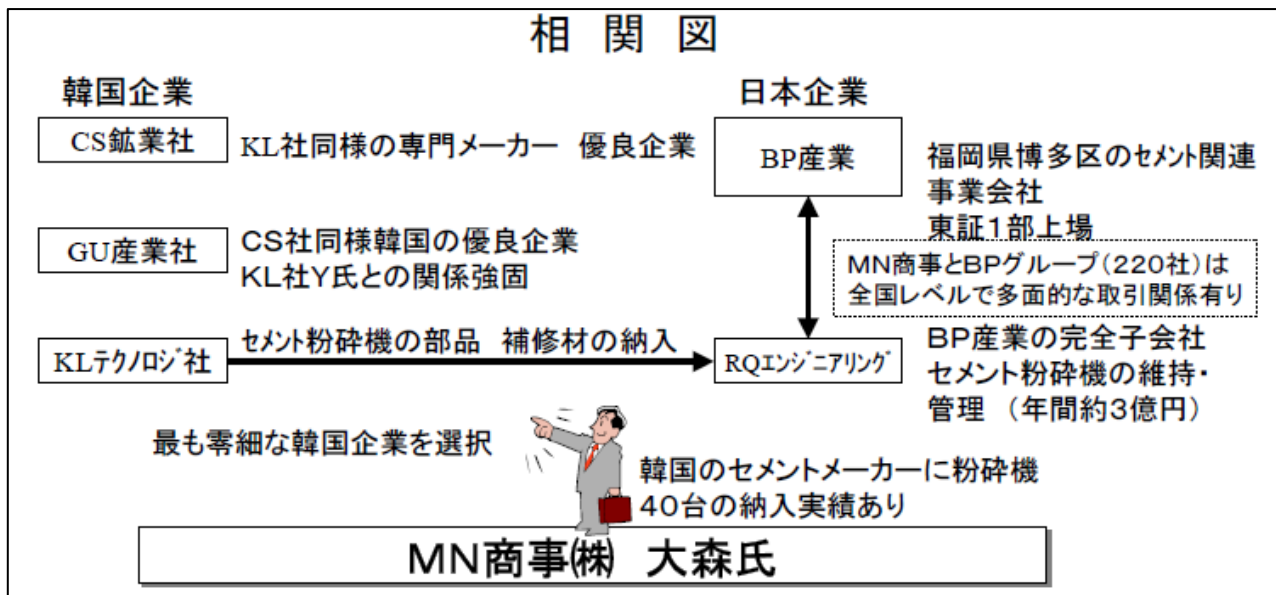
参加者 阿部俊一、島川憲夫(神奈川)、鈴木伸一、鶴岡義明、西村 豊、林 久雄、松下良子(神奈川)、
山田 一

テーマ 新入会員報告会 「新規輸入商品開拓ケーススタディ」

講 師 蒲谷公章 会員

千葉支部では、新たに入会された会員に、ご専門分野や興味をお持ちのテーマなどを支部の皆さんに知っていただくことを目的に、必ず一度はこの月例研修会にて講師を務めていただくことを励行している。昨年日本経営士会千葉支部に入会された蒲谷さんは、国内の産業用機械総合商社にお勤めの企業内経営士であるが、今回は社内で使用されている研修教材から「新規輸入商品開拓のケーススタディ」のご紹介を頂いた。

まずは、登場する企業各社の相関関係をこの図で確認する必要がある。



日本企業である B P 産業は、MN 商事東京本社機械装置営業部営業 2 課大森氏が担当する得意先である。彼は韓国のセメントメーカーに 40 台の粉砕機の納入実績を持っている。長年当該ビジネスに関わって来た大森氏は、予てよりこれら部品の取替・保守工事の領域への参入構想を練っていた。目標は、R Q エンジニアリング社の当該工事売上の 50% (1 億 5 千万) 相当の部品、補修材の納入である。これらの製品特徴としては耐用年数が 1 ~ 2 年と短く、一旦取引契約が成立すれば中・長期的な継続取引が可能となり安定した収入源となることが見込める。福岡から韓国は、地理的にも近いということで輸送コストも安いということだ。

大森氏は、K L テクノジ社の創業者である Y 氏との人脈があり、他に優良企業がある中、従業員 10 名程の零細企業で、品質管理 (日本様式の検査書類に大きな違和感・抵抗感を持つ) 納期管理 (80%の納期遅れが発生) に問題があるが、仕入れ価格が他社に比べ 10%も安い同社を選択し、MN 商事社内稟議を 2 ~ 3 ヶ月かけてようやく勝ち取った末、R Q エンジニアリング社との取引を見事実現することが出来たのであ



る。

大森氏はこの目標達成の為に、与信基準への考え方、個人の人脈を重視する企業文化への挑戦など、アジア企業に対する認識を新たにしなければならなかったと同時に、日本企業との取引を拡大していく為の品質、納期管理のベンチマーキングを通じ、経営指導も充実して行かなければならないという課題を持つということでこのケーススタディは終了した。

講評では、登場する企業のネーミングや、関係が分かりにくいとか、パソコン・プロジェクターを使ったプレゼンテーションではもっと、「表、図、イラスト」などを入れた資料を用意すると良いなど、先輩経営士からは厳しいアドバイスがあった。更には、このケース事例に登場した大森氏は、講師である蒲谷さんの営業活動体験をケース事例に仕立てたものであったことが分かり、以降様々な質問が飛び交う有様だった。研修教材としてではなく、リアルな営業活動体験談として話が聞けた事が参加者にとっては満足感が大きかったと思われる。

この教材を活用した研修の目的は、「社内ベンチマーキングによる営業活動のレベルアップ」と、「意思決定の訓練」であると思われ、日本経営士会における「MPP」と似ているところがある。「MPP」においても同様な目的を持つ能力開発研究プログラムであることから、「ケース事例」の取り上げ方により、もっともっと一般企業への受入性は高まるのではないのだろうか。

5月コンサルティング研究会

平成21年5月24日(日) 15:00~18:00

場 所 近江技術史事務所

テーマ 「中小企業の経営改善セミナーの検討」

講 師 近江堅一 会員

参加者 近江堅一、林 堯夫、大久保 篤、河井成夫、岩野邦久、千葉道生、近江良和、若月英司

- (1) 当研究会への新規参加者の紹介
- (2) 指導先の獲得について
- (3) 市川商工会議所「中小企業の経営改善セミナー」について

第54回千葉県会定時総会

平成21年5月9日(土) 13:00~14:30

場 所 千葉市京葉文化プラザ

参加者 阿部俊一、伊東美千代、岩野邦久、榎田國男、大河内國治、大塚亜喜雄、大塚末五郎、金子 昭、河合成夫、小塚彦明、清水 進、鈴木伸一、鈴木弘道、関 彦次郎、高野充昭、千葉道生、鶴岡義明、中嶋清介、西村 豊、林 久雄、原 弘行、山田 一、若月英司、上田隆一(本部専務理事)

鶴岡支部長のあいさつ、上田本部専務理事のあいさつのもと、議長選出。議長より書記、議事録署名人を指名のうえ、昨年の報告と以下の議題について審議され承認された。

- (1). 平成 20 年度事業報告承認の件
- (2). 平成 20 年度決算報告承認の件
- (3). 平成 20 年度監査報告の件
- (4). 平成 21 年度事業計画(案)承認の件
- (5). 平成 21 年度予算(案)承認の件

事後、記念講演「成田空港の現状と今後」と題し成田空港株式会社常務 伊藤 斉 様より講演いただきました。その後、場所を買って懇親会が執り行われた。



記事ご協力のお願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL : 090 - 5446 2808 FAX : 04 - 7133 - 1303

MAIL : shin_suzuki@nifty.com

研修、研究会実施のお知らせ

月例研修会のご案内

6 月度

日 時 平成 21 年 7 月 27 日(土) 15:00 ~ 18:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「儲かる農業」

講 師 株式会社高野企画代表取締役 高野充昭 氏

千葉県は、農業産出額第二位を誇る農業王国です。安全・安心と環境にこだわった農産物作りを推進し、消費者に選ばれる千葉ならではの儲かる企業経営体や将来を担う後継者を育成することが可能です。その為には、地域農業をリードする「アグリトップランナー」を育成していく必要があります。そこには経営コンサルタント等の専門化チームによる集中的な取組支援が求められています。そこで、現在農業ビジネスでご活躍の高野先生(千葉支部会員)をお招きし、元銀行マンから見た農業経営におけるコツを伝授して頂くことになりました。多数のご参加をお願い申し上げます。

8 月度

日 時 平成 21 年 8 月 22 日(土) 15:00 ~ 18:00

場 所 船橋市中央公民館

テーマ 「基幹業務のIT化」 ~導入体験談~

講 師 神奈川県会 島川憲男 会員

ITの専門家の島川会員が、自社にてITを導入した体験を基に、苦労した点・失敗談・そこから得られたIT導入時の注意点や問題点などを紹介いたします。お楽しみに。

9月以降の月例研修についてはホームページに掲載いたします。

コンサルティング研究会のご案内

6月 中小企業経営改善セミナー

日 時 平成21年6月17日(水) 13:30～17:30

場 所 市川商工会議所

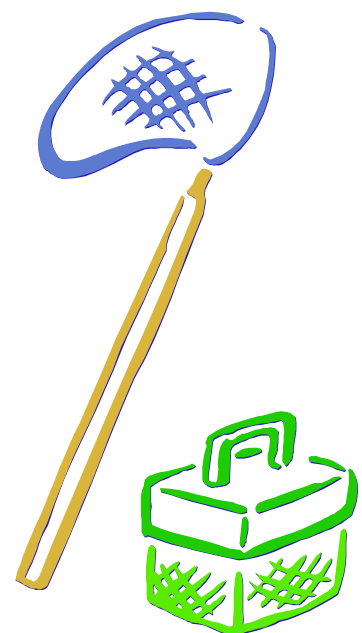
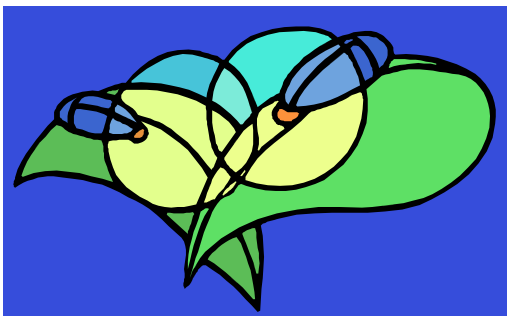
千葉県各地の商工会議所で開催している「中小企業経営改善セミナー」も4回目になります。地元企業への経営支援を目的として、コンサルティング研究会では、実際的なコンサルティングを展開しております。

6月

日 時 平成21年6月14日(日) 15:00～18:00

場 所 近江技術士事務所研修所

- (1) 市川商工会議所「中小企業経営改善セミナー」講演内容の最終チェック
- (2) その他



全国研究会のご案内

包括テーマ「新視点の経営哲学と価値創造」

基調講演：「新視点の経営哲学と価値創造」

江口 克彦 PHP 代表取締役社長

開催日：平成 21 年 7 月 25 日（土） 13 時受付 14 時開始

会場：つくば国際会議場 中ホール 3 階

論文発表会：平成 21 年 7 月 26 日（日）

会場：つくば国際会議場 2 階 3 分科会

参加費：20,000 円 発表論文集、懇親交流会費、昼食代含む

主催：社団法人 日本経営士会

北関東圏 3 支部（北関東・埼玉・千葉）連携委員会

つくば国際会議場 〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3

電話：029-861-0001 FAX：029-861-1209

1 日目 7 月 25 日（土）

基調講演 PHP 代表取締役社長 江口克彦 様

講話 日刊工業新聞社社長

知的交流会 MPP 方式

2 日目 7 月 26 日（日）

論文発表会

エキスカーション つくばサイエンスツアー、筑波山コース、水戸ー泊コース

千葉支部も主管支部のひとつとして、全国研を応援しております。場所も近いつくば市です。会員諸氏には積極的にご参加ください。参加のご案内はマネジメント誌上のご案内しております。締め切りを過ぎていますので、お早めにご連絡ください。

お申込は、本部の総会案内に同封してお送りしております申込はがきをご利用ください。

平成21年度「研修・研究会」の説明と新研究会のご案内

今年度の千葉支部としては、千葉県に軸足を置いた社会貢献活動に注力して行くにあたり、三つの目標を挙げます。

- (1). 会員のレベルアップ
- (2). 社団法人日本経営士会の知名度アップと千葉県へのアピール
- (3). コンサルタントとしての仕事を確保

その為に、従来の月例研修会、コンサルタント研究会、M P Pに加え、次に挙げる二つの重点活動を実施して参ります。

(1). 公開講演会の開催

日本経営士会の知名度向上を図ることを目的とし、県内在住もしくは県内企業の著名人をお招きし、会員のみでなく一般参加も可とした講演会を年に1～2回開催する。

(2). 社会貢献活動につながる専門研究会の立上げ

今年度には、以下の2つの研究会を立ち上げます。立ち上げメンバーを募集をいたしますので、積極的なご参加をお願いします。

日本経営士会 千葉支部 西村宛

FAX : 0 4 7 - 4 5 5 - 0 9 0 0

E-mail : yutaka.nishimura.pv@y8.dion.ne.jp

農業・観光研究会

<目的>

観光立県千葉の実現に向け、千葉県農林漁業の地域特性を生かした観光産業活性化に貢献することを目的とする。

<事業>

- ・ 農林漁業を観光資源として捉え、事業化に繋がる観光企画の研究開発。
- ・ 農業経営、へのコンサルティング活動を通じ、千葉ブランドの食材の開発、販路開拓。
- ・ 観光庁、関連機関、関連団体との連携交流による地域振興活動。

就業支援研究会

<目的>

千葉県産業を支える企業のニーズに対応した幅広い人材育成に貢献することを目的とする。

<事業>

- ・ 会員メンバーの実務経験を生かした人材教育オリジナルテキストの開発。
- ・ 千葉 REP の会(パソナ主催)との連携によるシニア人材向け就業支援を目的とした、講演会・セミナー等の開催。
- ・ 若年層に対する就業支援活動として、インターンシップ事業への参画。
- ・ 行政の各種雇用施策導入企業の開拓と支援活動。